

2020年3月2日

三鷹市議会議長 石井良司様

日本共産党三鷹市議団 幹事長 大城美幸
栗原けんじ
紫野あすか
前田まい
いのちが大事 幹事長 嶋崎英治
野村羊子
伊沢けい子

新型コロナウイルス対策への対応について（要望）

27日夕方の首相の会見での突然の発表により、全国小中学校一斉休業が要請され、三鷹市でも28日に市立小中学校22校の3月2日から春休みまでの臨時休校を決定しました。実際には、2月29日から4月5日までの37日間という夏休みより長い休業期間となります。

子どもたちにとってだけではなく、保護者や学校関連で働いている人、給食関連業者など、様々な分野で大きなインパクトを与えることが、専門家会議に諮られもせずに決定されたことに驚きを禁じえません。これらの影響に対して自治体としてできる限りの対応をすることが求められています。

1 教職員の臨時休校中の自宅研修を認められたい

理由：家に小学生中学生の待機者がいる教職員がいます。学校内感染の恐れがあり、妊娠者には特段の配慮が必要です。また非常勤職員など年次有給休暇が少ない職員もいます。

2 講師、支援員、給食調理員等非正規雇用者に、無給者が出ないようにされたい

理由：3月1か月分の収入がなくなります。雇用者側の都合なので6割の休業補償がされるべき事案です。政府の対応を求めることが重要ですが、当月の収入が途絶えると死活問題となる場合があり、現時点での対応・判断が必要です。

3 標準時数の確保にはこだわらず、柔軟な対応をされたい

理由：春休みの登校、新学期の土曜日登校は、教員への過重労働をうみ、子ども

たちにもストレスがかかります。長期的視点で柔軟に対応できるよう、国の対応を求めることも含め、丁寧で柔軟な対応が必要です。

4 学校での判断のもと、学校開放を実施されたい

- 月～金 8：15～6時間目まで学校開放し、教職員が見守りをする。
- 学校体育館、校庭、学校図書館も学校の判断で利用可能とする。
- 3月16日以降、新たな感染者がいない場合、登校日を設定し、教員が子どもたちの状況を把握できるようにする。

5 給食を、学童保育をふくむ希望者に提供するよう検討・対応されたい。

理由：給食が重要な栄養源になっている子どもたちがいます。弁当持参が困難な家庭があります。狛江市では学童保育所への提供を実施します。また給食食材納品業者の救済にもつながります。

6 放課後デイサービスの利用、支給日数等に柔軟に対応されたい

理由：三鷹市は教育支援学級の開所をしますが、そこから漏れる子どもたちがいます。障害のある子どもたちの居場所を確保し、生活を支えることが必要です。

7 卒業式の保護者の参加を認めるよう検討されたい

理由：現在三鷹市内での感染者はいません。3月15日までに、新たな感染者が発生しなければ、当初の感染拡大を抑えるという目標は達成しているとみなすことが可能です。人生でただ一度の卒業式、少なくとも、校庭での見送りや写真撮影などを認めるよう検討してください。